

〈一般公開用概要〉

全体を閲覧したい人や詳しく知りたい方は下記まで

成瀬 / takanaruse@gmail.com

第1回 レコセラを使った サービス可視化分析の集い

東京大学大学院
成瀬 昂





ディスカッションメモ(一部)

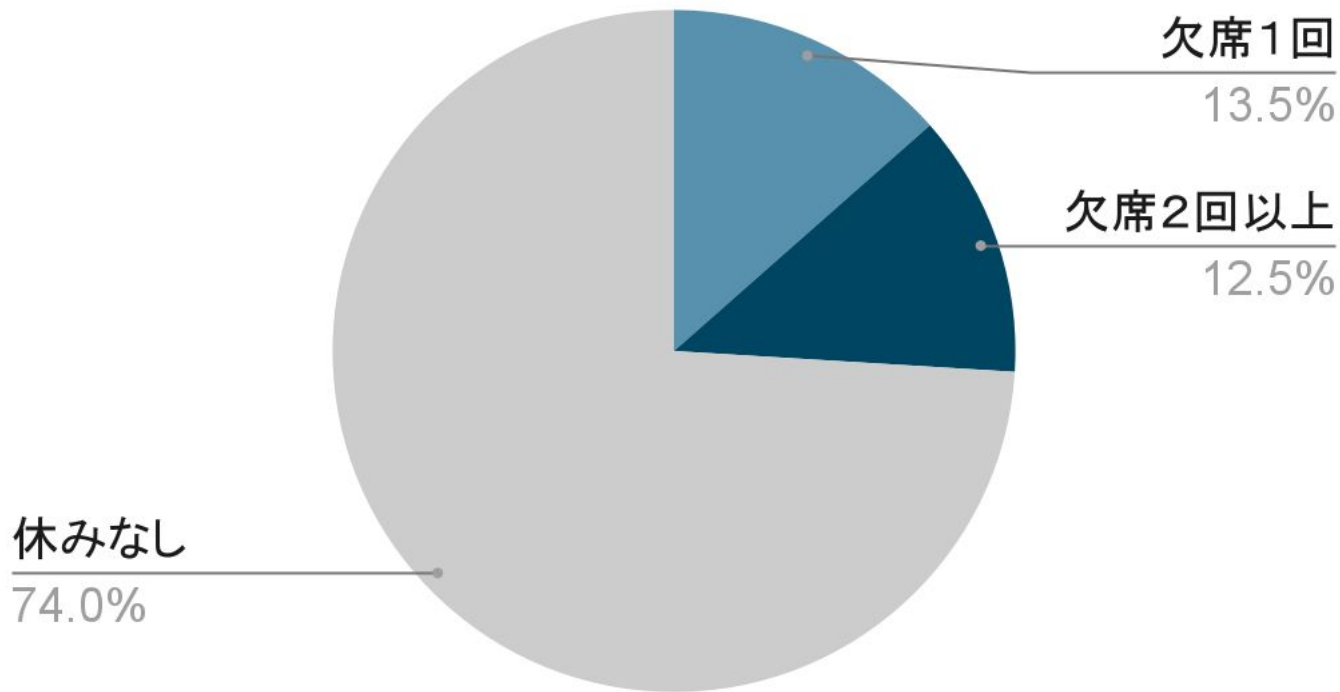
「欠席」は減らすべきものではあるが、理由なしには層とは言い切れない

- ・無理なく長期にわたって通いやすい(長期通所で休みにくいプレッシャーが少ない)雰囲気も作る必要がある。
- ・リハビリ活動の効果が出て、利用者が施設外の活動を発見する(いわゆる「卒業」につながる)欠席もあります。

「欠席」に関する現場の考え・普段の工夫

- ・帰り際の「あー楽しかった」などの利用者の声を、次の来所のバロメータとして参考にしたりします。
- ・稼働率は常に把握していますが、このような分析はしたことがなかったので、さらに掘り下げていただきたい。
稼働率上昇と利用者さんへのメリットと、両方の視点から、きちんと考えて参考にしたいです。
- ・都心と郊外での欠席理由にも差があるかもしれません。
- ・利用者に欠席意志があっても、家族への確認や本人の状態観察を行う等、丁寧に対応するようにしています。

1日でも欠席した利用者は全体の26%



のべ日・人でみると予定の7%が欠席

